

70年代における先行的権力再編 ロックアウトー神田治安体制を実力で突破せよ

三崎町叛乱から

新たな権力闘争への道を切り拓け

社學同全都校

◆六八一六九学園鬭争の限界をいかに越えるのか？

13 三崎町——17 駿河台叛乱から 70年代学生運動を

日大社学同

帝國主義の社会再編が、大學としておいては、六年大學立法として提出され、その全國的な先取りにしてあつた日本では、学生彈圧をして、檢問・檢閥体制として整備され、學内機動隊としての右翼ガードによる物理的支配と、機動隊の學内導入の日常化によって、維持してきたのである。

すべての同志諸君、
神田において、戦いの火は、燃
え上がつた。

全学生戦線を牽引した、あの大闘争から二年余り、学部当局の検問体制にあった法学部において、翼賛学友会（学生の間接統治機構）主催による、正常化（の暴行）の「新入生歓迎集会」に対し、神田地区二学部（法・経・理工）

い。学園闘争が権力との激闘の古波及させてゆく環を確定しきりで獲得した質を市民社会深部へ、波及させてゆく環を確定しきりで政治的国家・市民社会の硬直化した三元論的把握にもとづいて、この政治過程への一面化といふ來の政治構造の転換をなしきれかつた事を、我々はいま自らのいの総括をもって越えてゆかねならない。

の同志達へ、
全都・全国の闘う労働者
の同志達へ、
日本帝国主義の沖縄併合
会的帝国主義の再編—帝国國
で、ブルジョワ政治過程で
協定「調印」という日・米
セレモニーをもつて完成さ
れている。この調印策動は六
の前に、既成事實のつみみ
なるブルジョワ的政治手段
てきている。さらに、支配的
明け九月、「臨時国会」—沖
准のための「既成事實」と
きているのは明白である。
日本帝國主義の全社會的
して支配構造の転換—権力の
風化しつつある戦後民主主義
し、それは帝国主義の国境
として沖縄の併合をなじて
りわけ、尖閣列島の石油資
とした日米帝国主義にどう
の位置は、今や日・米関係大
基地問題を含む、アジア總

は、今や全
主義膨張過
度の「沖縄返
還」の階級は、八
月参議院選
をもって計
ねとして、
繩国会での
して策謀し
再編は当然
再編として
義の上に遂
ての「沖縄
の拡大・侵
きている。
体」への関係
源問題を媒

沖縄プロレタリアの回答
月「国政参加ボイコット」
の主体的位置の確定に前進
のらに昨年一二月のコザ市民
闘いが「あたりまえ」とし
映じたとしても、その深部
に常々批評されてゐる。
沖縄は、明治百年の歴史
の年、沖縄人民は「復帰」から
軍労四八時間ゼネスト、そ
して「一定一調印」粉碎をかけ全
突入せんとしている。本土
の段階、決定的に立ち遅れて
いる。

争実行委員会のアツビー沖一三闘争

帝国主義権力への我々の
兎もとつてゆかねばなら
左は人民戦線左派でも)のなかで
その秩序の枠を突破しえず、階級闘争
における大衆のエネルギーの圧殺をしか
ないのだ。

全ての闘う同志諸君！ 自らの政治的
現の転換を免ちとり、六月「沖縄返還公
定・調印」阻止の実力闘争体制を構築しよ
う。六月三里塚第二次強制収用執行阻止
に向け準備せよ！

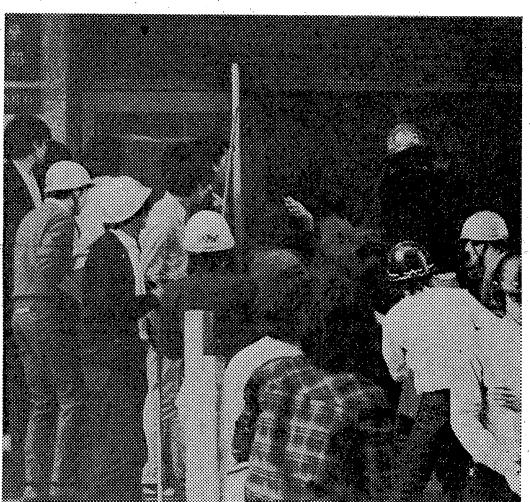
全ての戦闘的労働者・学生・市民諸君
三里塚・沖縄闘争実行委を結成し、
自らの個別闘争の徹底化と結合させ全国
道程と同様に、各拠点・拠点・學園ゼネストを打ち抜き、中央拠
点でトライキを明確に組織、力闘争へ突破口を切り開け。
新たな統一戦線を各拠点・地区におこ
る三里塚・沖縄闘争実行委のうちに組織
柱でのシエーマ化されし構築せよ！

またはその逆の「普遍
実行委ル

帝のロック・アウトを宣言せざ
得ない局面へ追いつんでい
たが三里塚闘争の「政治
的なそうとする政治的運動の位置で
「のルールを我々の前に
ような支配階級の願望を
すぐく、各拠点・地区で
兎もとつてゆかねばなら
左は人民戦線左派でも)のなかで
その秩序の枠を突破しえず、階級闘争
における大衆のエネルギーの圧殺をしか
ないのだ。

全ての闘う同志諸君！ 自らの政治的
現の転換を免ちとり、六月「沖縄返還公
定・調印」阻止の実力闘争体制を構築しよ
う。六月三里塚第二次強制収用執行阻止
に向け準備せよ！

全ての戦闘的労働者・学生・市民諸君
三里塚・沖縄闘争実行委を結成し、
自らの個別闘争の徹底化と結合させ全国
道程と同様に、各拠点・拠点・學園ゼネストを打ち抜き、中央拠
点でトライキを明確に組織、力闘争へ突破口を切り開け。
新たな統一戦線を各拠点・地区におこ
る三里塚・沖縄闘争実行委のうちに組織
柱でのシエーマ化されし構築せよ！



沖繩一三里塙鬪争実行委員会

緒成へのアツヒー

八

よ。六月三里塚第二次強制収用執行阻止に向け準備せよ！

The image shows a black and white newspaper page from the 1960s. At the top, there is a large, bold headline in Japanese: "ロックアウト一神田治安体制を実力で突破せよ" (Lockout - Break through the Shimbashi Security System with Power). Below this, another prominent headline reads "70年代学生運動を!" (Student Movement in the 1970s). To the right of these, a vertical column of text starts with "新たな権力闘争への道を切り拓け" (Pave the Way for a New Struggle for Power). The page is filled with columns of Japanese text, some of which are titles or subtitles of articles. There are several black and white photographs of student protests and demonstrations throughout the page.

